

## インタビュー

# エモーショナルキャピタルと ソーシャルキャピタルを 大事にするカンパニーを 築いていきたい

株式会社NTTデータ 取締役常務執行役員  
パブリック&フィナンシャルカンパニー長  
椎名 雅典氏

公共機関や金融機関向けビジネスを主な事業ドメインとしているNTTデータ パブリック&フィナンシャル（以下、P&F）カンパニー。本年7月1日に組織機構が改革され、さらなる事業拡大に向けて体制が強化されたP&Fカンパニーの事業方針等について、椎名雅典取締役常務執行役員にうかがった。

## 組織機構改革によりP&Fカンパニーの体制を強化

—はじめに、組織機構改革後のP&Fカンパニーの新体制についてお聞かせください。

**椎名** NTTデータグループの土台を担っている公共分野と金融分野を事業ドメインとしているP&Fカンパニーは、9地域会社等グループ会社を含め社員数は約1万9千人、売上高の割合もNTTデータグループ全体の約60%を占める巨大なカンパニーとなりました。屋台骨としての役割とともに、成長エンジンとしての役割も期待されています。本年7月1日には、公共分野と金融分野の市場環境やニーズの変化に対して、迅速かつ柔軟に対応できる事業運営と、さらなる事業拡大に向けた体制強化を目的に組織機構改革が行われ、P&Fカンパニー内の一部の関連事業本部を公共システム事業本部と第一金融事業本部に集約し、4つの事業本部体制になりました。

—P&Fカンパニーを取り巻く事業環境は、どのような状況でしょうか。

**椎名** 公共分野、金融分野の主な市場のIT投資は、横



ばいか縮小傾向が続いており、P&Fカンパニーを取り巻く事業環境は厳しい状況が続いています。その中で、着実にビジネスを展開して実績をあげていくために、今回、組織機構改革を実施しました。

公共分野においては、中央と地方が一体となった公共分野の新たなビジネスの可能性に対して、付加価値の高い総合的なITサービスを提供できるよう、公共システム事業本部に、中央官庁、地方自治体、地域ビジネスを個別に推進してきた組織を集結させました。また事業領域についても、これまでの中央官庁等を中心としたビジネスから、図書館や医療施設、道路など、人々が集い共有する“Public Sector”を対象とした社会インフラビジネスへと拡大していきます。

一方、金融分野においては、提供商品やサービスの多様化に対応できるよう、決済インフラ、メガバンク、証券、信託、クレジットカードなどを事業領域としてビジネスを展開してきた第一金融事業本部に、ゆうちょ・郵政や保険・共済に関連した組織を集結させて、業態の垣根を越えた総合的な金融ITサービスを提供できる体制にしました。

また、グローバルビジネスについては、第4のカンパニーとして新たに設置された「グローバルビジネスカンパニー」との連携を図り、事業運営の機動性を高めながら、中国やAPACを中心としたビジネスを展開していきます。

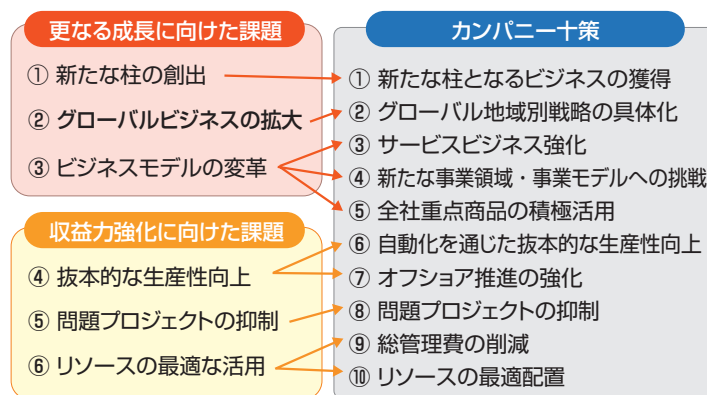


図 「カンパニー十策」

## 中期経営計画の目標達成に向けて 「カンパニー十策」に基づいた取り組みを展開

——中期経営計画の目標達成に向けて、P&Fカンパニーでは、どのような取り組みを進めていきますか。

**椎名** 中期経営計画では、①新規分野拡大・商品力強化、②グローバルビジネスの拡大・充実・強化、③全体最適の追及、に取り組む、「Global TOP5」、「EPS20,000円」の達成を目標に掲げていますが、P&Fカンパニーでは、目標達成に向けた主な取り組みを「カンパニー十策」として掲げ、各テーマ（十策）に対して、カンパニーが一体となって取り組んでいます。たとえば「新たな柱となるビジネスの獲得」では、メガバンクへの積極的なビジネス展開やマイナンバー制度への対応など、「自動化を通じた抜本的な生産性向上」では、金融・公共分野での開発自動化の適用やオフショア開発の効率化推進など、「グローバル地域別戦略の具体化」では、公共分野におけるインドネシア、ベトナム、ミャンマーを対象としたインフラ構築への取り組みなどがあげられます。

——本年7月に、P&Fカンパニーに関連したニュースリリースがいくつか発表されましたが、これも「カンパニー十策」に基づいた取り組みでしょうか。

**椎名** 7月9日に発表した、免税手続き世界最大手のグローバルブルー社との日本でのBPO/ITOサービスの本格展開や、7月16日に発表した、約10年ぶりに全面リニューアルした個人向けインターネットバンキング機能

提供サービス「AnserParaSOL<sup>®</sup>」の提供開始、そして7月31日に発表した、あおぞら銀行様への金融機関向け基幹系システム「BeSTAccloud<sup>®</sup>」の利用決定などは、「カンパニー十策」に基づいた成果と言えるでしょう。

## お客様との信頼関係を構築して目標を達成していく

——最後に、今後の抱負をお聞かせください。

**椎名** 新体制となったP&Fカンパニーでは、さらなる事業拡大に向けて、エモーショナルキャピタルとソーシャルキャピタルを大事にした取り組みを進めていきます。エモーショナルキャピタルとは「情的資産」と訳される言葉で、社員の活力や結力を指します。共通した価値観のもと、このエモーショナルキャピタルが高まることで、目標達成への力が増大します。ソーシャルキャピタルとは「人間関係資本」や「社交資本」と訳される言葉で、社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを指すものです。社会を支える非常に重要なお客様とのロングタームリレーションシップを構築し、お客様と一緒に夢や目標を実現していくことを目指していきます。

是非とも、この2つを両立することで、目の輝いた仲間とともにお客様のロイヤルティを獲得していきたいと考えております。

——本日は有難うございました。

(聞き手・構成：編集長 菊地勝由)